

特定非営利活動法人
福山市身体障害者団体連合会

第13号

福山市身連通信

2014 (H. 26) 年7月

発行者 NPO法人 福山市身体障害者団体連合会
編集者 福山市身連 広報部市身連通信編集委員会
連絡先 ☎ FAX 084-983-2411

目 次

福山市身連 総会開催	福山市身連 総会開催
相談協 研修会開催	全国大会（しまね大会）
新五千円札 発行	全国大会 続き
障害者陸上競技大会	障害者陸上競技大会
広島県身連 市身連	広島県身連 総会開催
募金のお願い 編集委員会より	福山市と面談
相談員協議会 役員会	福山市と面談

NPO法人 福山市身連

総会の議事 要約 1~7

平成二十五年度通常総会 開催

ゴールデンウィーク明けの五月八日、福山市身連は新年度を迎えての総会を、福山市市民参画センターで開催致しました。従来年度当初のこの総会は二十六年度総会としていましたが、法人となつたことで、今から二十五年度締めの総会とする旨発言され、当日正会員六十人のうち五十二人（委任十五人含）の出席があり、総会として成立しました。

開催の挨拶 前川 昭夫 理事長

新年度を迎えての挨拶は前理事会で言われた事と重なりますが、要約して記載します。

- 二十五年度は市身連の法人移行のための一年であったと思つ。
- 法人体制の期間は九月以降の半年の中で「ふれあいサロン」の自主事業をしたが、このような事で実力をつけていきたい。
- 福山市の協力を得て新たな事務所を設ける事が出来そうでここを拠点に新たに収入を伴う事業をし議事に入りました。

出来的様この一年いろんな方面に働きかけそのきっかけを作りたい。

- あと一年の任期をしつかりと任務を果たしていく所存です。
- その他に先人の頑張られてきた連合会の歴史にも触れられ、全般的な活動への発言もされて、今度途中で閉めて法人に引き継いでおり、その後の決算、貸借対照表や財産目録等の資料を示し説明し監査報告へ進みました。

1、議長選出

総会の議長については規定が示されていないので事務局長でと提案されたが、執行部が議長はおかしいと発言があり、相談役の江草理事にお願いし、承認。

2、議事録署名人選任

理事会で慣例となつている順番と同様に、その順で、根本敏太郎理事と、門田潤美理事を選任。

3、前年度報告

事業報告については年度初めから、法人化後にかけて一年間の行事について活動の報告をして、決算については旧連合会会計を年度途中で閉めて法人に引き継いでおり、その後の決算、貸借対照表や財産目録等の資料を示し説明し監査報告へ進みました。

5、新年度計画・予算

事業計画案としては、法人として県に提出している事業案をほぼそのまま、五つの部門別に事業内容を具体性を持たせ提案しました。それに伴う予算については、当初いろいろな案が出ていましたが、連合会として今年度きまつた收入は会費と市の補助金のみで、事務所移転の経費も見込まれることもあり、各部門で平均10万円程の予算を組むことが精一杯と事務局から説明されその中での活動となる見込みです。

4、監査報告

(次ページに続く)

6、新年度役員体制



本来今年度は役員改選の年ではありませんので、欠員となつた役員の補充のみ行われました。渡部副理事長の死去によって空席の理事には同じ神辺協会の後任会長の田上敬二氏が就任し、監事を降りた馬場氏の後任は同じく神辺協会の園生浩治氏が就任となりました。

新年度ということで改めて、連合会運営規約を出席者に配り、実際の活動での疑問点があれば、意見を求め、一、二質問がありました。

第4章の総会に2年続いて欠席等で表決に参加のない人の失格について、厳しいのではと質問がありましたが、理事会にはかつて決定となつており、今後も多少検討することになりました。

*総会の議事は、これで終了となりいくつか連絡事項があつて、日程を終え新年度のスタート体制が出来た事になりました。

この日は各協会が残らず参加される事が確実なので、会報の印刷を間に合わせてもらい12号を配布できました。

今年の総会は希望者に弁当（実費5百円）を用意する事になつていて注文者は食べたり、持ち帰つて散会となりました。

7、連合会運営関係

新年度ということで改めて、連合会運営規約を出席者に配り、実際の活動での疑問点があれば、意見を求め、一、二質問がありました。

平成二十五年度 研修会開催
時 平成二十六年四月二十八日
所 福山市市民参画センター

福山市障がい者相談員協議会は特に身体の部として二十五年度自らの企画する研修会が開催でき

なく、新年を迎えて年度末までに研修会を予定していましたが、連

合会が法人化し、年度替わりの事務処理等がこれまでのように簡単でないこともあって、ほとんど同じ執行部なので年度内にはできませんでした。

執行部から四月に入つたがとにかく二十五年度の研修会をやりたいと提案されて、相談員の委任期間は終わっているが、次期の相談員の予定者を対象として開催しました。

日程がゴールデンウィークの頭で、しかも今年は相談員の更新年で、更新者の推薦中でしたので、出席者数が気になりましたが、そ

れでも三十五名ほどの参加者が受講して行されました。

今回は2012年施行になつた障害者虐待防止法を再度テーマとして福山市社会福祉協議会の守山氏に講師をお願いして、施行されてからの現状や、福山近辺で起つた事件等の報道などの資料を元に講義を受けました。

虐待というテーマは障害者に限らず、子供、高齢者、女性等にも当てはまるのですが、そのこと自体が家庭内や、事業所などの内部で起きるので見かけること、事情を知ることの難しい事が実情であり、対応の悩ましさの残る事案であることに変わりなく、勉強して即分かりましたとは行かないようです。

日本身体障害者福祉大会 しまね大会へ

日時 平成二十六年五月二十二～二十三日
会場 島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）

先ずは前日観光へ

昨年は北海道での開催となつたこの全国大会は今年、約二十年ぶりに中国地方で島根県での開催となり、前年の遠方で日程の長かっただ大会参加とは打って変わって、昨年高知での中・四国大会と全く同等の行程や人数での参加となりました。

福山市身連は、例年通り西部觀光バスでの福山仕立てのツアーを組み、今年度秋の中・四国大会が中止になつており、多数の参加者を予定して募集しましたが、参加されるのは常連の人々に限られ、昨年の高知行と全く同人数での参加となりました。

大会前日の二十二日、新市から出発したバスは、市内の参加者を拾つて福山西インターから高速にのり世羅、三次を通り島根へと走り、ほぼ予定通り出雲市へ着き、出雲大社の門前で昼食をとりました。ここで前日から他の行事等で島根入りしていた、前川理事長と藤井事務局長が合流し、食事後本殿などの工事が出来てカバーが取り払われてきれいになつた出雲大社をガイドさんに説明を受けながら見物しました。この時ガイドさんは（せんげ）さんで代々続いてい

るなどのお話を聞きましたが、その若宮司が、旅行から帰つて宮家のお嬢様とご婚約と報道をされ何か身近な人のように思われました。大社を出て、コースにはまって島根ワイナリーにより、ワインを試飲し何人も好みのワインを買つ人もいて、そこから今度は「オー ゲルパークへと向かいました。

到着するとちょうどふくろうの飛行を見せるショータイムに間に合うということで急いで会場に行き見物出来ました。女性トレーナーの指示でお客の持たされているリングの中を通過して帰るなどのショーケースは、そのあとは小型のふくろうを手に乗せて写真を撮るのを2百円という有料でやっておりました。この特大の温室というような園内はいろんな花でいっぱいでした。ここでも前日から他の行事等で島根入りしていた、前川理事長と藤井事務局長が合流し、食事後本殿などの工事が出来てカバーが取り払われてきれいになつた出雲大社をガイドさんに説明を受けながら見物しました。この時ガイドさんは（せんげ）さんで代々続いてい

るなどのお話を聞きましたが、そ の若宮司が、旅行から帰つて宮家のお嬢様とご婚約と報道をされ何か身近な人のように思われました。大社を出て、コースにはまって島根ワイナリーにより、ワインを試飲し何人も好みのワインを買つ人もいて、そこから今度は「オー ゲルパークへと向かいました。到着するとちょうどふくろうの飛行を見せるショータイムに間に合うということで急いで会場に行き見物出来ました。女性トレーナーの指示でお客の持たされているリングの中を通過して帰るなどのショーケースは、そのあとは小型のふくろうを手に乗せて写真を撮るのを2百円という有料でやっておりました。この特大の温室というような園内はいろんな花でいっぱいでした。ここでも前日から他の行事等で島根入りしていた、前川理事長と藤井事務局長が合流し、食事後本殿などの工事が出来てカバーが取り払われてきれいになつた出雲大社をガイドさんに説明を受けながら見物しました。この時ガイドさんは（せんげ）さんで代々続いてい

るなどのお話を聞きましたが、その若宮司が、旅行から帰つて宮家のお嬢様とご婚約と報道をされ何か身近な人のように思われました。大社を出て、コースにはまって島根ワイナリーにより、ワインを試飲し何人も好みのワインを買つ人もいて、そこから今度は「オー ゲルパークへと向かいました。到着するとちょうどふくろうの飛行を見せるショータイムに間に合うということで急いで会場に行き見物出来ました。女性トレーナーの指示でお客の持たされているリングの中を通過して帰るなどのショーケースは、そのあとは小型のふくろうを手に乗せて写真を撮るのを2百円という有料でやっておりました。この特大の温室というような園内はいろんな花でいっぱいでした。ここでも前日から他の行事等で島根入りしていた、前川理事長と藤井事務局長が合流し、食事後本殿などの工事が出来てカバーが取り払われてきれいになつた出雲大社をガイドさんに説明を受けながら見物しました。この時ガイドさんは（せんげ）さんで代々続いてい



(前ページ記事の続き)

それを望む人は街へどうぞということでした。が、団体で出ていくことはありませんでした。

福祉大会 会場へ

大会当日は宿泊が米子市になつたため、朝八時半には出発して松江市のくにびきメッセへと向きました。

大会は先ず鎌刈大会副会長の力強い開会宣言から始まり、いつもどおり、国歌斉唱、物故者に黙祷、あいさつがあつて、表彰式になり全国から選ばれた五〇名に及ぶ方が表彰されました。その中に広島県、広島市からもそれぞれ各一名の方が選ばれておりました。

来賓紹介後、小休憩のあと、議事に入り昨年の事業報告の概略と新年度の事業計画の基本方針が説明され、そのほかに、前日ホテル一畠で行われた、障害者権利条約関連のシンポジウムの報告などが了承されました。

それから大会宣言として、障害者権利条約に基づく国内各法律の成立は大きな喜びであるが、これ



られました。

神楽は広島県北でも盛んに伝承されていますが、共に本場物と

いう感がありました。

最後に大会冊子に載つていなかつた来年度の開催県からの挨拶になり、宮崎県で来年五月二十五・二十六日の予定で開催に決定と案内がありました。

大会終了でこの旅のメイン行事を終わり、バスの乗車順を待つて宍道湖しじみ館へ行き、昼食をとりました。この旅の食事にはもなく小さくてもシジミの味噌汁がついていました。

そこで、次に寄った境港さかなセンターでお土産を選び、一路帰途につきました。

今回の行程は、行きの人権センターで少々遅れた以外は、福山に帰り着くまでほぼ予定通りに到着でき、日の照っているうちに福山駅に帰り着きました。

今回のツアーは洋室シングルのみの宿泊で、寝起きがベッドで、いびきと共に心配要らないのは好評でしたが、反面、仲間同士で部屋でのおしゃべりや、カラオケもなかったことなど、せっかくの旅

行なのに少し物足りなかつたとの意見もでて、今後個室のみの旅行などについて再考の余地があります。

お札の区別をしやすく 新5千円札 発行

財務省は手触りでほかの紙幣との違いを判別しやすくするため、5千円札を改良して他の金額との判別をしやすくしました。

変更したのは紙幣表面左下に貼っている「ホログラム」の透明シールで、5千円札は今の機能形から四角形に変えて、大きさも1・7倍にし、5千円と1万円の区別をはつきりとさせる事になりました。

視覚障害者等から出ていた変更を求める声に答えるかたちの対応で、今まで偽造防止のための改良はありました。が、識別のための変更は初めてということです。

今年度3億8千万枚発行予定ですが、改良前の札も流通していますので、簡単に良くなつたとは言えませんが、視覚障害に対する認識が一歩進んだようですね。

好天に熱戦の競技者

第八回 広島県障害者陸上競技大会

東広島運動公園陸上競技場

月初めの天気予報からずっと雨という予報で心配していた東広島での障害者陸上競技大会は、五月十一日絶好の五月晴れで、さわやかなスポーツ日和のなかで行われました。

今年の福山からの参加者は、選手も昨年に比べると少なく、応援の参加者も直前の事情もあって減つたこともあり、予定していた大型バスを中型バスに変えての参加となりました。

そのせいでもないでしょうが、行き帰りは定刻通り余裕をもつて到着し、朝会場の入口で新しく県身連の事務局長に就任した、小畠氏とも挨拶を交わすことができました。

ここでの大会は毎年体育協会やいくつもの大学等のボランティアの支えを受けて、天気のいい割に意外と暑くなく、風も爽やかで、

ディションだったこともあってか、場内アナウンス（今年は放送も爽やかでした）によるいろんな競技で次々と新記録の発表がありました。

今年も長崎身障国体に福山から選手が選ばれ嬉しいことなのですが・・・。

応援する観客席も昨年にくらべて行かない見合わせていました。例によって福山からは、北部発人たちは本当に早朝からの日程でお疲れ様でしたが、参加の皆さん心配の全く要らない一日でした。

今年も長崎身障国体に福山から選手が選ばれ嬉しいことなのが、心配の全く要らない一日でした。

事者としては適当な事で済ますわけに行かない見合わせていましたが、本気の取り組み時期が来ていて常に非常にいいコンディションだつたこともあってか、

平成二十六年度 第一回

広島県身連 総会開催

広島県社会福祉会館

県身連の新年度総会が、県内各地の加盟団体の会員代表（三一名中二二名出席）を集めて、五月二十八日広島市の県社会福祉会館でありました。

総会は鎌刈会長の所信表明とも言うべき挨拶があつて、議長に大崎上島の河本氏を選出して、議事の平成二十五年度事業報告や決算報告が提出され、それについて

連合会活動への対応が年々変わっている事で、5月16日市役所會議室で福祉事務所と話会いました。事務所から、来山課長と小川次長が対応され、市身連は理事長以下幹部10名程が出席し用意した六項目の件について、まずは今回用意してもらえる事務所の御礼を述べて、今収入のない中、事務専従者なしで事務連絡に協力や、以前あった補助の立ち消えなど、担当が変わるたびに行政サービスの低下と思えることなど思いを述べ要望に即回答はありませんが、認識のギャップを少しは埋められた

市身連 市と面談

